

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第22週（令和8年5月25日～令和8年5月31日）

〇県内で麻疹（はしか）患者の発生が確認されています。

2026年1月以降、神奈川県内では麻疹患者が47例(令和8年6月4日現在)報告されています。

麻疹ウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39℃以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

麻疹と思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻疹の疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。

予防には、ワクチン接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻疹の予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

【全数把握対象疾患】

	診断（第22週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(6)
三類感染症		
四類感染症		A型肝炎(1), レジオネラ症(4)
五類感染症		アメーバ赤痢(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(3), 水痘（入院例）(1), 梅毒(4), 百日咳(7)

【定点把握対象疾患】

→一休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	0	0	0	0	2	11	2	9	0	0	0	0
	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	7	0	0	0	1	0	0
	D	0	0	0	0	0	2	5	0	2	0	1	0
内科	E	1	0										
	F	0	0										
	G	0	0										
	合計	1	0	0	0	4	23	2	11	0	2	0	0
	定点当たり	0.14	0	0	0	1.00	5.75	0.50	2.75	0	0.50	0	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	1
	I	0	0
	合計	0	1
	定点当たり	0	0.5

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	感染性胃腸炎	23	18
2	手足口病	11	2
3	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	4	7

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	155
	B	39
	C	92
	D	64
内科	E	53
	F	17
	G	14
	合計	434
	定点当たり	62.00

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

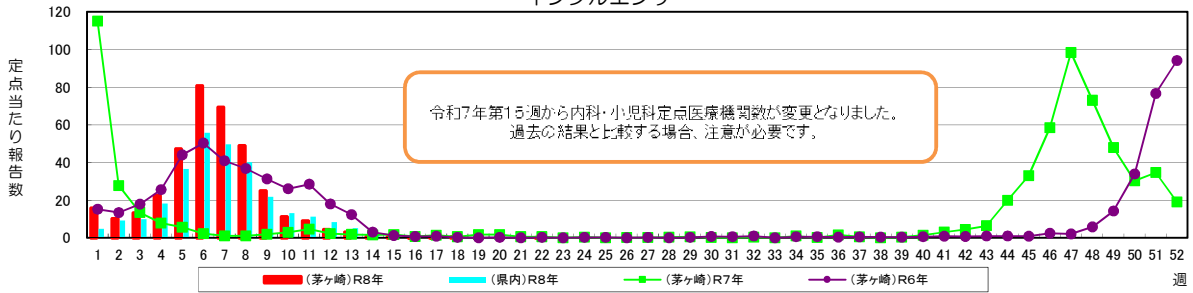
	疾病名	19週	20週	21週	22週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	0	0	1	0	↓
		0	0	0.25	0	
	咽頭結膜熱	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	4	6	7	4	↓
		1.00	1.50	1.75	1.00	
	感染性胃腸炎	13	25	18	23	↑
		3.25	6.25	4.50	5.75	
	水痘	1	1	1	2	↑
		0.25	0.25	0.25	0.50	
	手足口病	0	4	2	11	↑
		0	1.00	0.50	2.75	
	伝染性紅斑	0	0	1	0	↓
0		0	0.25	0		
突発性発しん	2	2	3	2	↓	
	0.50	0.50	0.75	0.50		
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	→	
	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	0	1	0	0	→	
	0	0.25	0	0		
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	0	0	1	↑
0		0	0	0.50		
内科 (ARI) 定点	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	0	0	0	1	↑
		0	0	0	0.14	
	新型コロナウイルス感染症	0	2	0	0	→
		0	0.29	0	0	
急性呼吸器感染症 (ARI)	323	444	411	434	↑	
	46.14	63.43	58.71	62.00		

※急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

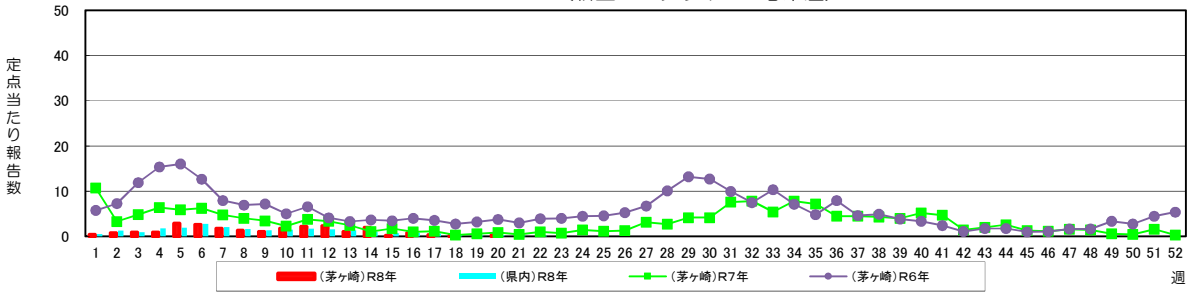
※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

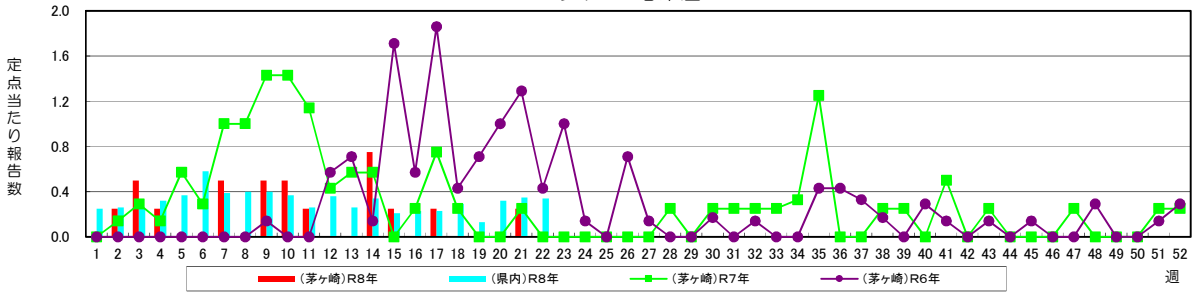
インフルエンザ



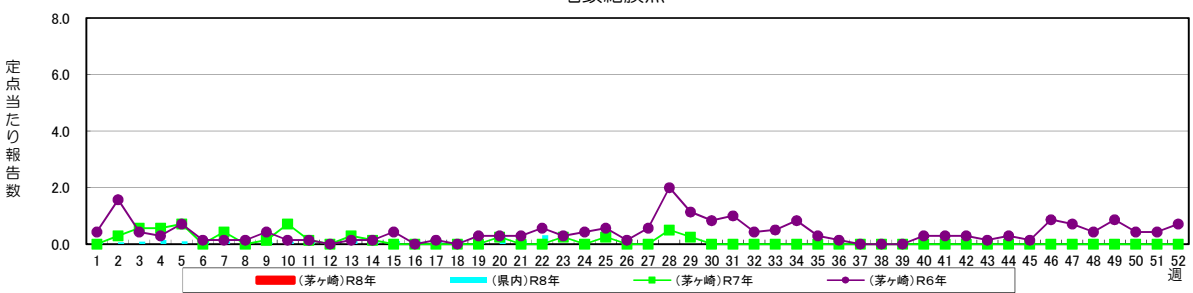
COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)



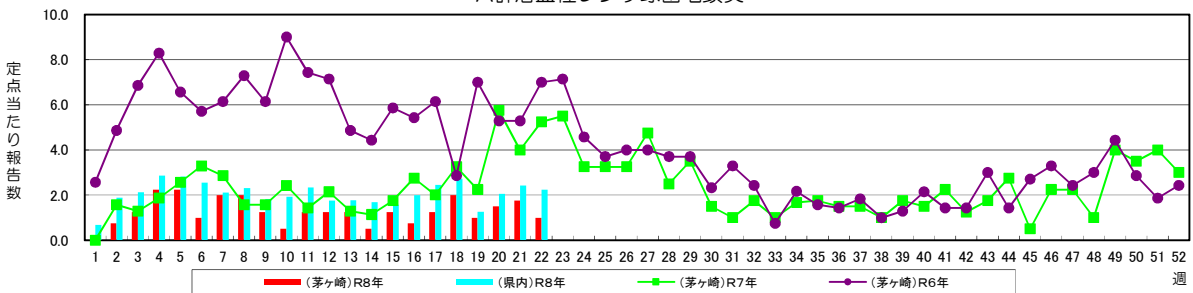
RSウイルス感染症



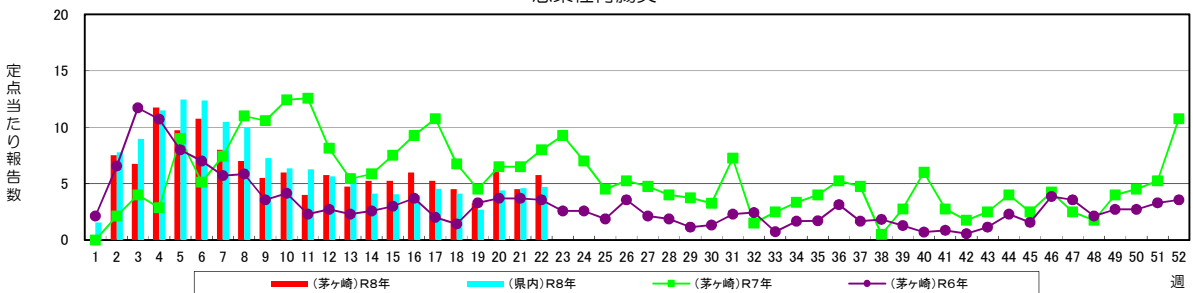
咽頭結膜熱

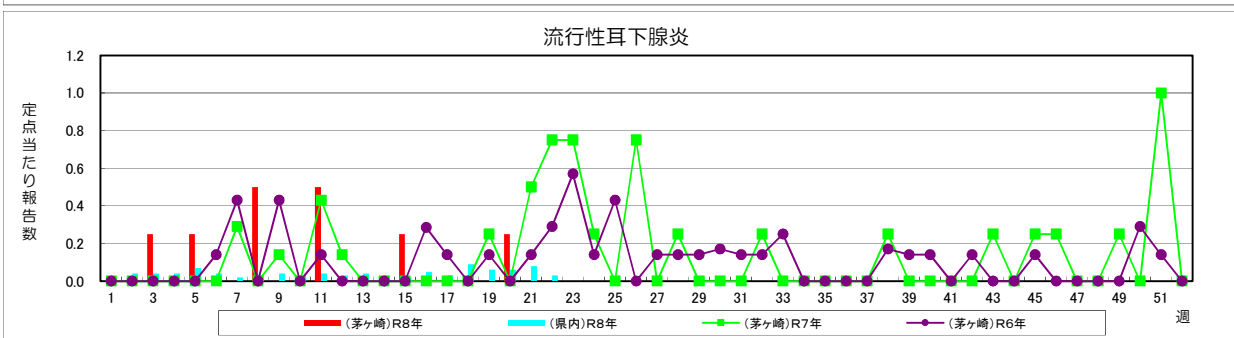
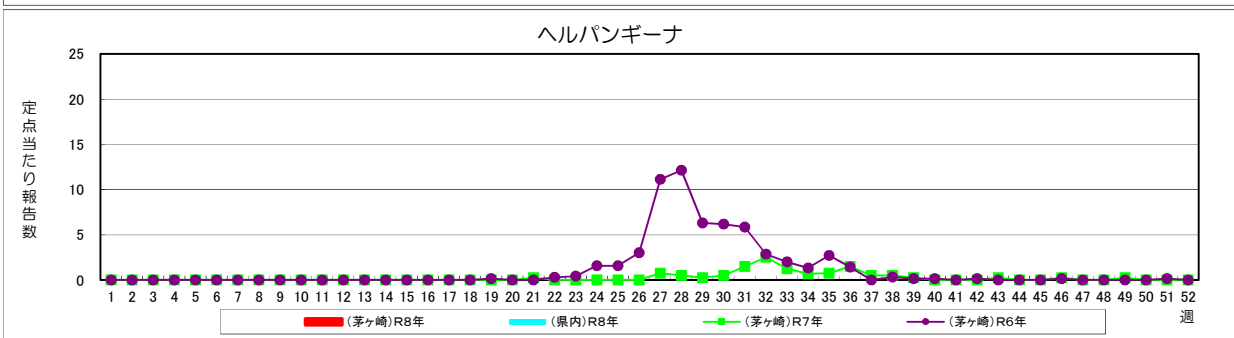
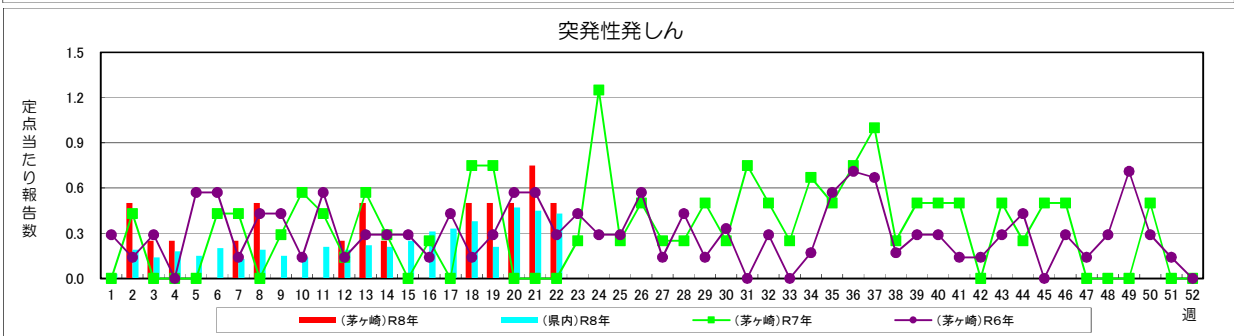
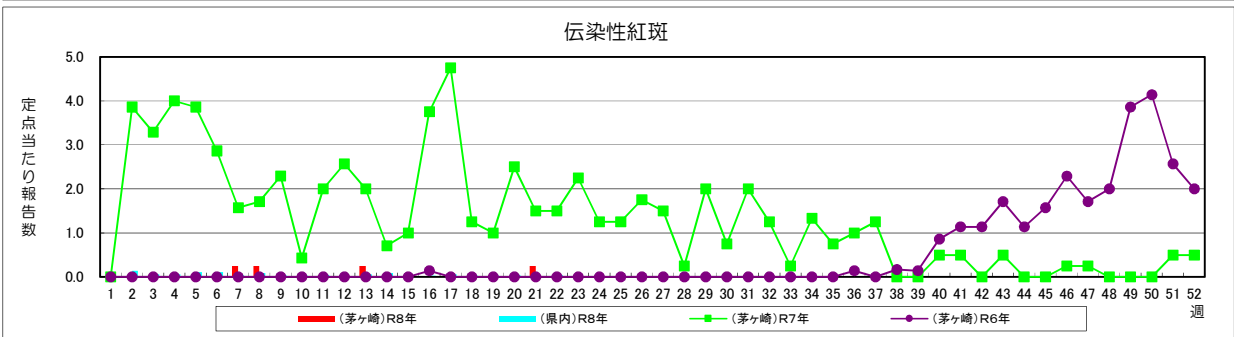
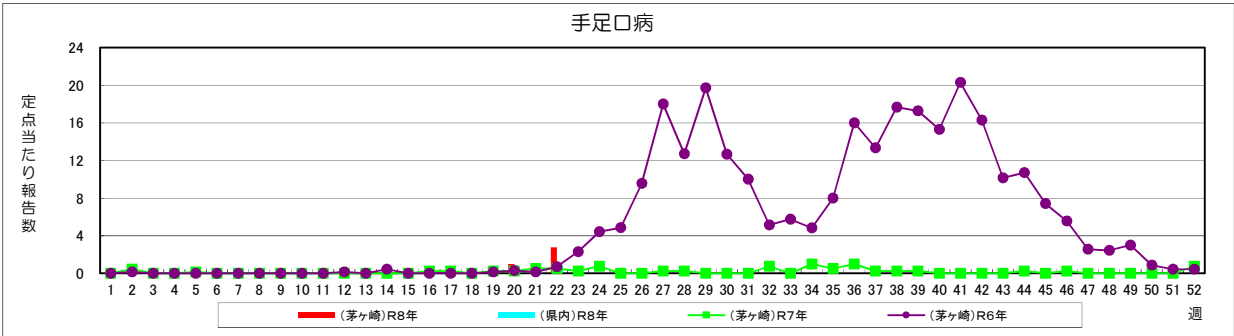
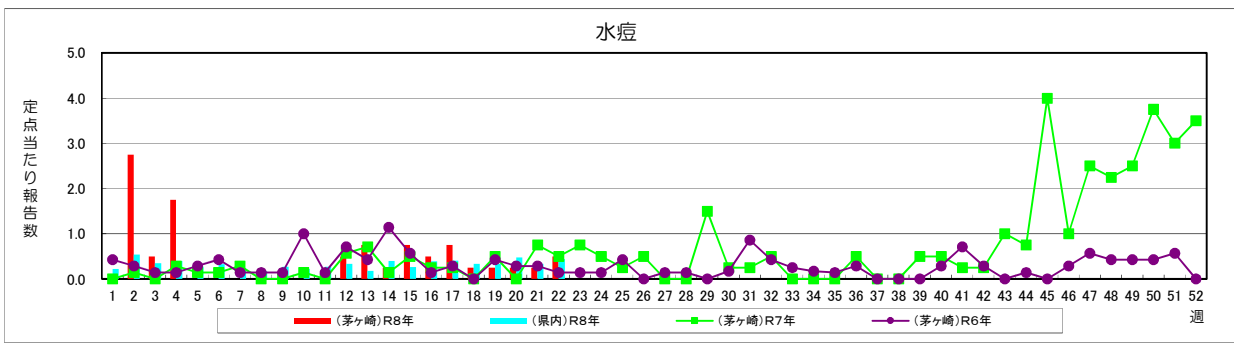


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

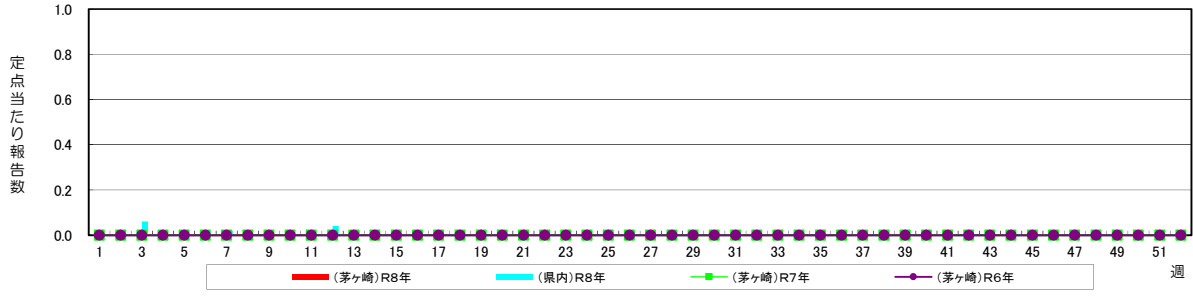


感染性胃腸炎

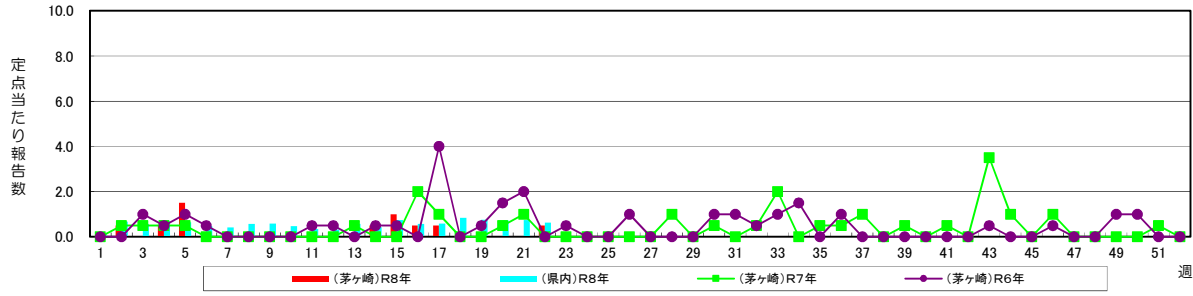




急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症(ARI)

